

令和元年度 第24回「まちづくり会議」概要 山島地区

日 時：令和元年10月19日（土） 10：00～11：20

場 所：山島公民館

参加団体等：親和会、壮年会、JA 青年部、民生委員、山島ほたるの会、山島美しいまちづくり運動、体育協会、松南小学校 PTA、山島公民館、町会連合会など

発言【1】

①コミュニティバスの土日祝日の運行について

②お墓の造成について

【市】

①コミュニティバスにつきましては、平成19・23年度に土日運行の実証実験を実施した結果、平日の半分程度の利用であり、本格運行には至っていない状況です。まずは、現状のルートやダイヤを基本としながら利用状況に応じた見直しを行い、利用者の増加につながる施策を実施してまいりたいと考えています。

また、自動車運転免許証返納後の移動手段につきましては、市では「市民協働で創るまちづくり」の中で地域課題について協議する「新しい地域コミュニティ組織」の創設を進めています。免許証を返納された高齢者の交通手段について地域で話し合い、福祉施設の車の送迎時間以外の空き時間を活用する方法など、公共交通空白地の運送事業を実施することについても「市民協働で創るまちづくり」で取り組むことができる課題の一つとして考えています。

②墓地造成の計画につきましては、市全体で検討する必要があると考えています。市営墓地全体では墓地に空き区画があり、竹松墓地公苑の区画が少なくなった時点で、次の墓地造成について検討してまいりたいと考えています。

発言【2】

白山市町会連合会でのテーマごとの研修会の開催について

【市】

現在、地区の代表である理事を対象に視察研修や研修会を行っており、町内会長には、総会への出席をお願いしています。

ご提案につきましては、市町会連合会の役員会で検討したいと思っております。

発言【3】

災害時（高齢者）の避難情報、避難経路、避難場所について

【市】

白山市の一次避難場所、二次避難施設につきましては、それぞれの地域で決まっております。災害の状況に応じて、避難指示や避難勧告などの5段階の警戒レベルを発表することとしていますので、すみやかに避難を行っていただきたいと思っております。

昨年の5月に「白山市総合防災マップ（保存版）」を各世帯に1冊ずつ配布していますので、避難場所や浸水想定区域の確認をお願いしたいと思っております。また、避難情報が発令されたときの取るべき行動を警戒レベルごとに記載されたA4サイズの啓発チラシも以前に配布しています。一次避難場所、二次避難施設を記入できるようになっていますので、冷蔵庫等に貼ってご活用ください。

現在、防災マップの想定は、24時間雨量が539mmでシミュレーションをしています。手取川が氾濫した場合、山島地区がどれぐらい浸水するか、防災マップを参考に万が一の場合に備えて訓練をすることが有効であり、山島地区で毎年行っている年1回の訓練を続けていただきたいと考えています。

また、市では避難行動要支援者名簿を協定の締結をした町内会に提供し、一次避難場所、二次避難施設への避難を地域にお願いしています。要支援者は警戒レベル3で避難開始とされており、早めの避難が重要と考えていますので、要支援者の避難を想定した訓練も併せて行っていただきたいと考えています。

【参考】避難行動要支援者名簿の対象者

- 1.介護保険の認定を受けており、ひとりでの移動が困難な方
- 2.介護保険の認定を受けており、認知症などにより判断力が低下している方
- 3.身体障害者手帳の交付を受けており、障害の程度が1級もしくは2級、又は下肢3級の方
- 4.療育手帳Aの交付を受けている方
- 5.高齢者ひとり暮らしの方または、高齢者のみの世帯の方
- 6.災害時に支援が必要と認められる方

※この名簿に登録することの同意により、地域避難支援者となる町内会や民生委員などの「避難支援関係者」に事前に情報を提供し、日常の防災・防犯活動および地域の見守り活動や災害時の支援活動に活用しています。

発言【4】

放課後児童クラブの人的費的な支援について

【市】

放課後児童クラブ（学童クラブ）の運営費については、国の基準に基づいて委託費として市から支出しています。基準は利用児童数に応じた額が設定されていますので人件費が考慮されていると考えています。

発言【5】

通学路の対策について

【市】

学校やPTAから要望のあった場所につきましては、毎年、通学路の安全点検を学校、警察、道路管理者合同で実施し、通学路安全対策会議を通して、担当部署や警察に対応を要望しています。

通学路でのクッションドラムや反射板（デリネーター）等の安全施設の修繕につきましては、除雪シーズンが終わり次第、取り掛かりたいと考えていますが、限りある財源の中で、全てを補修することは難しい状況でありますので、ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。

看板等につきましては、交通安全協会の各支部で設置していただいておりますが、規制が生じる看板につきましては、公安委員会へ要望してまいります。市で設置が可能な表示につきましては、順次設置してまいりたいと考えていますので、町内会等のご協力をお願いいたします。

発言【6】

民生委員について

①講演会や研修会について

②負担増に伴う相談体制について

【市】

①市主催の研修会等につきましては、参加しやすい時間帯等に配慮してまいります。また、市社会福祉協議会や県社会福祉協議会が主催する研修会等に関しましては、情報を共有しながら、研修会等の充実をお願いしてまいります。

②民生委員・主任児童委員の皆さんには非常に重要な役割をお願いしています。市といたしましても、近隣の民生委員や町内の福祉協力員と連携した活動をしていただきたいと考えています。また、少しでも負担減につながるよう、相談しやすい窓口対応の改善にも努めてまいります。

発言【7】

- ①防犯カメラの設置補助金について
- ②山島のアピールについて

【市】

①白山市では子どもの安全のため、通学路等に防犯カメラを設置しています。

防犯カメラの設置に関する補助金制度のある県内の市、町は5つあります。市でも防犯カメラの設置に関する補助金制度について検討してまいります。

②市では、地域の多様化する課題に対応していくため、これまで受け継がれて来た地域活動を尊重しながら地域の特色を生かす仕組みづくり、地域と行政がともに地域づくりに取り組む「市民協働で創るまちづくり」を推進しています。

地域住民が主体となって、地域課題の解決や地域資源の活用について話し合い、実行することを地域づくりの基本とし、若者や女性、子どもたちなど多様な人たちと話し合って、地域の『いいところ』を地域からアピールしていただきたいと考えています。

空き家につきましては、空き家所有者に空き家バンク制度のパンフレットを送付することで、空き家の利活用の周知を図っているところですが、町内会などにおかれましても、空き家バンクへの登録を勧めていただき、広く市内外に紹介してまいりたいと考えています。